



清浄石（護摩壇石）



世界への
プレゼントに
なろう

WEEKLY REPORT

No.2834 2016年2月29日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★ 点 鐘

卯野福弥会長

ロータリーソング「奉仕の理想」

司会 卯野福弥会長

★ 出席報告

榎木直行委員長

会 員 数	31名
出 席 者	15名
欠 席 者	14名
出席免除者	2名
メイクアップ	1名
出 席 率	55.2%

★ 会長挨拶

卯野福弥会長

先週の平磯中学校での教育講演会いかがでしたか。「国家百年の計は教育にあり」と言われますが、これからの時代を担う子ども達が育つためには、教育に力を注がねばなりません。そのような観点から7月の那珂湊中学校での講演会とあわせて今回の講演会も大変意義のある講演会であったと思います。今回の企画に当たっては、社会奉仕委員会委員長の黒澤利勝会員には大変なるお骨折りをおかけしました。講師選



定に当たっては何人もの講師にあたられたとのこと、本当にお世話様になりました。

さて、いよいよ明日からは3月です。「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る。」と言われてますが、これは正月から三月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことを調子よくいったものです。

早くも次年度に向けて、2月13日には鹿志村吉信ガバナー補佐エレクトの会議がありました。また、3月6日には地区チーム研修セミナー、3月19・20日には会長エレクト研修セミナー、3月27日には地区補助金管理セミナー、4月9日には次年度の地区役員・会長・幹事・各委員会の委員長が出席する地区研修・協議会があります。

そして、4月16・17日にはつくば市のノバホールで地区大会がありますが、ご承知のように17日は誰もが全員が参加することになっていますので、一人でも多くの会員が参加されるようお願いいたします。

私たちはいろいろな集まりに出ることによって、ロータリーの新しい流れや他のロータリークラブの活動の様子なども知ることができ、クラブのマンネリ化を防ぐことができるのではないかと考えています。皆様には、これからも都合が付くときにはいろいろな会合に是非とも出席いただきますようよろしくお願い申し上げます。

★ 卓 話

「なぜ日本の百貨店業界はダメになったのか」
安達良司会員



「デパートで買いたい」がなくなった理由

年が明けて2016年がスタートしました。2012年以来様々な改革を行ってきましたが、今年はそれを一層加速させる必要があると考えています。新年早々ですが、われわれを取り巻く厳しい状況をしっかりと直視しつつ、今後課題を乗り越えていくための経営戦略について語りたいと思います。

2015年11月の全国百貨店売上高は8ヶ月ぶりにマイナスになったものの、10月までは7ヶ月連続でプラスを記録しました。

しかし、これで百貨店業界が勢いを取り戻せるなどとは思ってはいません。実際、2014年を振り返れば消費税率引き上げに伴う駆け込み需要と、その反動の影響があったとはいうものの、売上高は前年比マイナスの状態が続き、百貨店業態の長期衰退傾向に歯止めがかかっているわけではありません。

日本の小売業全体では約140兆円の売上規模があります。うち百貨店の売上高は約6.2兆円で、全体の4.4%にすぎません。バブル経済が崩壊する前の1990年頃は、10兆円近くの売上高と6%のシェアがあった。まさに「衰退の四半

世紀」だったのです。

売上高が10兆円近くもあった頃は、小売業の構造をピラミッドにたとえると、百貨店はかなり高いポジションにありました。ボーナスが出たり、少しお金の余裕ができたときなどに、「デパートで買いたい」という特別な期待感をお客さまに抱いてもらっていました。

しかし80年代頃から、いわゆる「カテゴリーキラー」と呼ばれる小売店が登場し始めました。電器店ならば「ヤマダ電機」や「ビックカメラ」「ヨドバシカメラ」。紳士服ならば「洋服の青山」や「Aoki」。軽衣料ならば「ユニクロ」や「しまむら」。お客さまは、単に価格の安さでなく、「この品質でこの価格ならば」と価格と価値のバランスでカテゴリーキラーを評価しました。



次には「スポーツオーソリティ」や「スポーツスポーツ」などの、あらゆるスポーツ用品が一店で買える店が登場しました。これは百貨店には太刀打ちできない業態でした。



「カテゴリーキラーたちに対抗できるのか」と悩んでいるうちに、次の波がヤングの部門に訪れる。JRの駅ビルや周辺に若者向けの専門店

ロータリーは出席が大事

私がロータリーに加盟したのは1997年4月でした。その時に先輩ロータリアンから言われたことは「兎に角出席が第一、顔を合わせて挨拶をして会話を交わす、これがスタートです」でした。赤十字病院院長になって2年目、内科外来やドックの診療、様々な会議があつて定期的に出席するのは不安がありましたが、水曜日の昼の例会出席を軸にスケジュールを組み立てればそれはそれでリズムが作られるものと考え、そのようにしてきました。

その時“メイク”についても説明を受けました。Make-upの略、メーキャップは化粧のことと知っていましたが、欠席の埋め合わせをする意味があることは寡聞にして知らず。手元の英和辞典では、「こしらえる、作り上げる、組織する、化粧する、仲直りする、(不足を)補う、償う」が挙げられており、米国では追(再)試験を受ける意味でも使われているとのこと。そう考えれば化粧も短い(と本人が考えている)まつ毛を長くしたり、唇の朱を強調したり、頬紅を塗ったりと足らざるところを補う行為とすれば納得できます。まあ補てんする、帳尻を合わせるといふようなニュアンスをもった言葉のようです。

現在メイクについては、欠席の前2週間または後2週間以内に他のクラブの例会か所定の会合に出席すれば、自己の会員身分を守り、出席のクレジットを受けることができる、とされています。以前は前後1週間で、クラブ数も少なく、先輩たちは大変な思いをしながらメイクをし、連続出席を重ねたのです。おかげで私は入会以来メイク、また次に述べるサインメイクを活用して先日19年連続表彰を受けることができました。

では国際ロータリーでこの規定はいつできたのでしょうか。山本正治著「ロータリーのこぼれ話」(新潟日報事業社・2013年)によりますと、シカゴロータリークラブの開始から1か月しかたない1905年3月23日の例会で連続して4回欠席すると会員資格を失う規定が設けられています。如何に出席が重視されたかがわかるでしょう。なおこの規定は現在も生きています。その後1922年国際ロータリー連合会から国際ロータリーに改称されたときに綱領改正とともにメイクアップ規定が制定されました、とあり

がつくられ、3大セレクトショップと言われる「BEAMS」「SHIPS」「UNITED ARROWS」が拡大戦略をとり始めて、百貨店はさらに苦境に追い込まれました。



かつて伊勢丹新宿本店では、20代のお客さまのシェアは20%もありました。それが今やひと桁台です。「このテイストのシャツと、こっこのテイストのパンツを組み合わせたい」といった要望に応えられる、選択肢の広い、きめの細かな小売りは、セレクトショップの独壇場になっていきました。



気がつけば百貨店はどうなっていたのでしょうか。どの店も同じような商品が並ぶ「同質化」に陥っていました。例えばアパレルでは、百貨店はどこも同じメーカーのナショナルブランドを扱い、さらに海外のラグジュアリーブランドを競うように導入していました。そうなる日本全国、どこのデパートを訪れても、並んでいる商品も、売り方もまるで同じという状態になっていきました。カテゴリーキラーやセレクトショップにどんどんお客さまを奪われ、百貨店の売り上げは落ちます。売り上げが落ちると人件費の削減にシフトしてしまい、自社の販売員を減らし、取引先から販売員を派遣してもらうようになりました。販売員は最も情報を持つ百貨店の“肝”です。にもかかわらず情報は取引先に流れ、サプライチェーンのなかで何が起きているのかが分からなくなり、百貨店のマーケティング力はどんどん低下していきました。

ます。ちなみに日本のロータリーの発足（東京RC）が1920年、大阪RCが1922年です。日本のロータリーはマークとともに歩んだと言ってもいいかもしれません。

そのマークに「サイン・マーク」が加わったのはいつからでしょうか。いや、1922年と制定当時からあったのかもしれませんが。現在の手続要覧には会合が開かれていると思っていったがたまたま休会であった時もマークに認定されている項があり、これが現在の形すなわち休会があらかじめ公表されていてその会場に赴いてサインすればマークと認められるというふうになったのです。多忙なロータリアンにとってサイン・マークは大変便利です。でも基本はあくまでもに例会に参加して他クラブのロータリアンと言葉を交わし、情報を交換することです。クラ

ブによって例会の運営にも微妙な差があり、それがまた面白い。今の言葉でいえば「ロータリーの中の多様性」ですね。ガラパゴス島ではありませんが、夫々が独自の進化を遂げている結果なのでしょう。例会全部でなくてもよい、60%出席すればマークと認められるのです。ほんとのマーク、サインマークでないリアルマークを少しでも多くして交流してほしいものです。

手元にある2013-14年度平均出席率は地区全体で81.14%、100%出席が2クラブ、最も低いのは65.32%。ロータリアンの三大義務は、ご存じのように、「例会の出席」「会費の納入」「ロータリー雑誌の購読」です。何はともあれ例会出席、宜しくお願いします。

（第2540地区 2015-16年度ガバナー 宮下正弘）

★ 国際ロータリー 2016-17 年度のテーマが決定しました



人類に奉仕するロータリー

清浄石（巻頭写真説明）

この石は、「阿字石」「箱石」ともよばれ、上の方には座布団状の形の石がある。ここで護摩を焚いたと伝えられているので護摩壇石とも呼ばれている。

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」